

## 39) 心血管疾患を併存する外科手術症例の検討

角南	栄二・草間	昭夫
佐藤	友威・岡村	直孝
若桑	隆二・田島	健三
広田	雅行・和田	寛治

(長岡赤十字病院 外科)

近年心血管疾患を併存する外科疾患に対し積極的に手術が行われるようになった。当科においても1995年6月より最近5ヶ月間に胃癌2例、大腸癌2例、胆嚢胆管結石1例、ITP 1例、計6例の心血管疾患合併手術症例を経験した。

心血管疾患の内訳は虚血性心疾患5例、弁疾患1例であった。虚血性心疾患5例中適応と考えられた4例に対し術前にPTCAを施行し、PTCAが有効でないと考えられた2例に対し術中術後IABPを併用した。弁疾患に対しては腹部手術を先行し、その後弁置換術を施行した。

この6例について術式、手術手順を決定する上での問題点を検討したので報告する。